

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。
札幌開発建設部では調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための支援活動を行っています。

平成 27 年度 石狩川下流河川総合学習支援業務
調査船等を活用した学習支援活動 第 15 回



- ◇平成 27 年 9 月 16 日 (水) 10:00~11:30
- ◇参加者 江別市立江別小学校 5 年生
児童 28 名 教諭 3 名

【学習コース】江別コース（江別河川防災ステーション→新石狩大橋→江別河川防災ステーション 往復）

【学習行程】

時刻	学習内容	
	1 班	2 班
10:00~10:05	集合、挨拶、伝達事項等	
10:05~10:45	弁天丸乗船	川の仕組み学習
10:45~11:25	川の仕組み学習	弁天丸乗船
11:25~11:30	集合、挨拶、伝達事項等	

【学習内容】

- ◇弁天丸
 - 船上から川や鳥、植物などの自然を観察
 - カードを使って川の近郊にある施設探しとその役割を学習
- ◇川の仕組み
 - 蛇行した川のある方
 - 洪水の防ぎ方（ショートカット・堤防・遊水地・ダム・排水機場）

【参加者からのアンケート】

- ◇弁天丸で行った千歳川や石狩川で、あなたが発見したものは何ですか
波がくじらのしっぽみたいになっていた
流木
雨が降った日の次の日にのったので、大きな木や魚が死んでいたのをみました
- ◇体験学習に参加して、もっと知りたいと思ったことは何ですか
ヤツメうなぎのとりかた
弁天丸の仕組み
魚の種類

◇千歳川や石狩川に次に来たとき、やってみたいと思うことは何ですか

魚つり

いろんな川の色を調べたい

もう一度弁天丸に乗りたい

【実施状況写真】



防災センター1Fに集合



乗船前にライフジャケットを着用



ショウドウツバメの巣が見えてきました



どんな発見があったかな